

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	鹿島市			代表者名	松尾 勝利
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策総務部DX推進室	連絡先電話番号	0954-68-0140
担当者役職	一般職員	担当者氏名	一ノ瀬 慶太	連絡先E-mail	
住所	849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1				

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	生成AI活用人材の育成・DX戦略の着実な取組推進
概要	生成AIを活用できる職員及びDX戦略の着実な取組(各分野の取組)を推進できる職員の育成を目的とした職員向け研修		
支援を求める分野	EBPM生成AI活用 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 働き方 子育て 医療・介護・健康 農林水産業		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	26	令和6年7月11日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月18日	支援・助言&講演(実地)	9時00分	15時00分	90
			活動時間(分)	270	
2-2. 派遣場所	会場名	鹿島市役所5階大会議室	最寄駅	肥前鹿島駅	
	所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>事前の打合せと意見交換では、DXを進めていくための担当課としての取組手法、生成AIのツール選定のポイント、様々な施策の少ない人員での取り組み方など、他市の事例も踏まえながらご教示いただき、大変参考となった。</li><li>研修では、市長から職員へのメッセージ動画を踏まえたうえで、アクションプランの取組手法、KPIとKGIの理解、小さく始めて早く失敗すること、各自ができることをできる範囲でやることなど、各職員が自分ごととして捉えるためのお話をいただき、意識づけに繋がったのではないかと感じた。</li><li>生成AIについては、活用法には段階があること、ChatGPT-4oの活用方法など、デモを交えながらの講義で、職員は、直に技術の進歩を感じることができたのではと感じた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	110人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	110	0	0	0

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>全庁的に生成AIの利活用が進まない。</li><li>DX戦略のアクションプランについて、庁内各課の着実な推進ができていない。</li></ul>
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>職員研修を行い、生成AIの必要性や活用法、アクションプランの進め方などの認識共有・意識醸成。</li><li>各職員が、自分ごととして捉え、取組を推進していくマインドの醸成。</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	以下の点について、ご教示いただいた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIの進化、技術の進歩は凄まじく、生成AIを利用できるかできないかで大きな差がでる。また、利用できる人は、タスクの分解をすることができる人であり、タスクを分解できないと人に仕事を依頼することもできない。</li> <li>生成AIは、「正解」ではなく、「意見」を出すもの。それを理解し、人が「決める」こと。</li> <li>アクションプランへの取組手法について、「小さくはじめる」「早く失敗する」ことが重要。人材や財源、時間などの限られたインプットの中で、自分ができる範囲で行動すること。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIについて、どのようなことができ、どのような活用手法があるのが理解することができた。今後、生成AIの利用数が増えるように感じた。</li> <li>今後、アクションプランを進め、施策に取り組んでいくうえでの心構えを学ぶことができた。また、業務内容に関わらず、仕事自体の進め方の構造について、学ぶことができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIを職員がオフィスツールのような感覚で、利用している状態。</li> <li>DX戦略のもと、各担当課で具体的な取組が進められ、「実効性のある取組」が全庁的に進んでいく状態。</li> </ul>	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

